

グループで創る、ひとつの音楽。

スズキトーンチャイムは柔らかく心に染み入るような音色。独自のハンマー機構と厳選された材料により、すばらしい音色を実現しました。その音色は、聴く人はもちろん演奏者の心にも優しく響き、安らぎを与えてくれます。ひとりひとりが音を受け持ち、ひとつの曲を心を合わせて演奏することで、チームワークを高め一体感を得る喜びへとつながります。演奏愛好家をはじめ、学校教育や養護施設、サークル活動など、幅広く活用されています。



■ トーンチャイム HB-250N

トーンチャイム音域表はスズキwebサイトでご覧いただけます。



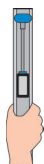
詳細はコチラ



トーンチャイム全音域4オクターブ半のうち、中心となる2オクターブ25音のセットです。まずはこのセットを揃えましょう。ケースは可搬性に優れたキャスター付きです。

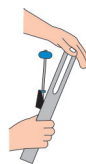
持ち方

音名プレートの真下をしっかりと握り、胸の前で構えましょう。低音のトーンチャイムは大きいので、もう一方の手をチャイムの一番下(底)に添えると良いでしょう。



音の止め方

チャイムの先端を体に付けたり、手で触れると音が止まります。また、机の上にタオルを敷き、チャイムの先端をタオルに当てて止めても良いでしょう。



演奏方法

腕を大きく前方に振って発音します。力をいれず、音を響かせるという感じで演奏すると良いでしょう。



活用例: トーンチャイムできらきら星(協同する喜びを学ぶ)

- ①「きらきら星」を全員でドレミで歌った後、「使われている音はいくつか? 何の音かな?」と子どもたちに質問して「ド」「レ」「ミ」「ファ」「ソ」「ラ」の6音であることを確認します。
- ②子どもたちの中から6人選びます。
1人1音ずつトーンチャイムを持ち、担当音を記した紙を首からさげ順に横に並んで立ちます。
- ③先生は並んでいる子どもたちの前に立ち、「ド、ド、ソ、ソ、ラ、ラ、ソ…」と、「きらきら星」の歌の通りにそれぞれの音を担当する子どもを指さしていき、指された子はトーンチャイムを鳴らしていきます。



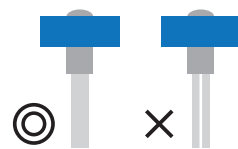
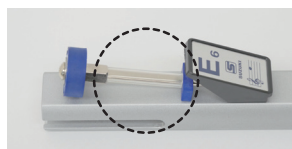
その他の活用例はこちら



よくあるご質問

「トーンチャイム修理対応可能品の見分け方は?」

写真の破線で囲んだ部分「アーム」の形状をご確認下さい。
アームが「板状」のものは修理対応しております。(図左)
アームが「2本の棒」を組み合わせている物は、修理対応を終了しております。(図右)



品番	音域	本体音名表示	寸法 [*] (cm)	重量(kg)	付属品	税込価格(税抜価格)
☆ HB-250N	クロマチック25音g ¹ ~g ³	G ₄ ~G ₆	38×13.5×67.5	11.4	ケース、六角棒スバナ×3、ヘッドフェルト×5	110,000(100,000)
HB-120AN	12音c ¹ ~f ^{#1} ・g ^{#3} ~c ⁴ (派生音含む)	C ₄ ~F ₄ [#] /G ₄ ^b ・G ₄ [#] /A ₄ ^b ~C ₇	37.5×10.5×52	9.5	ケース	90,200 (82,000)
HB-120B	12音g~b・c ^{#4} ~g ⁴ (派生音含む)	G ₃ ~B ₃ ・C ₇ [#] /D ₇ ^b ~G ₇	70×12×35	7.9	ケース	96,800 (88,000)
HB-7CN	クロマチック7音c~f [#]	C ₃ ~F ₃ [#] /G ₃ ^b	100×16×63	22.7	ケース・六角棒スバナ×3	165,000(150,000)
HB-160	16音a ¹ ~f ^{#3} (b ¹ ・f ^{#2} ・b ²)	A ₄ ~F ₆ (幹音のみ)・A ₄ [#] /B ₄ ^b ・F ₅ [#] /G ₅ ^b ・A ₅ [#] /B ₅ ^b	58×8×37	5.3	ケース・六角棒スバナ×1	77,000 (70,000)
HB-100	10音c ³ ~c ⁴ (f ^{#3} ・b ³)	C ₆ ~C ₇ (幹音のみ)・F ₆ [#] /G ₆ ^b ・A ₆ [#] /B ₆ ^b	34×8×28	2.5	ケース・六角棒スバナ×1	49,500 (45,000)

*寸法は持ち手を上にしたときのケースの外寸を幅×奥行き×高さで示したものです。